

## 医学生・研修医・女性医師の集い

旭川市医師会女性医師部会

部会長 長谷部 千登美

旭川市医師会女性医師部会で毎年企画・開催している『医学生・研修医・女性医師の集い』が、2019年11月16日（水曜日）に、旭川医大の臨床第3講義室で開催されました。今回も例年通り旭川医大の二輪草センターの皆さんにお手伝いをいただき、40名程度の方に参加していただきました。演者は旭川市内いくつかの総合病院で研修中あるいは研修を終えて仕事をされている女性医師にお願いし、各先生のご体験や思うこと、学生さんへのメッセージなど、思うままに語っていただきました。

最初の演者は、市立旭川病院初期研修医2年目の森香苗先生で、「ハラハラ研修医生活ーある移住者の一例」というタイトルでお話していただきました。法医学者という夢をお持ちの上で、救急診療を学びたいというお話、初めての旭川生活、当直が奪い合いになるほど楽しんでおられることなど、積極的に勉強されている研修生活がよくわかるお話でした。

### ハラハラ研修医生活 ある移住者の一例

市立旭川病院 研修医2年目  
森香苗

## 自己紹介

出身地：出身地を聞かれると超困る

言葉はほぼ新潟のイントネーション  
発音はハ行とサ行が苦手(フランス語矯正できず)  
一番長く住んだのは千葉県浦安市

出身高校：大妻高校(東京都千代田区)

故郷はない

そもそも北海道には縁もゆかりもない

## なぜ旭川に残ったか

- \* 治安がいい(むしろ、治安が悪い町にもう住めない)
- \* 都会に行きたくなったら札幌、逃げたくなったら美瑛
- \* 研修病院の給料が関東に比べて高い
- \* ラジオのリクエストがとおりやすい(イメージがいい)

\* 今まで自分が住んだどの街よりも好き

## 旭川の...

### ここが好き

- \* 365日大体美しい。うち20日くらいは天国に来たみたいなお日がある
- \* 治安がよくストレスフリー
- \* よそ者に優しい
- \* 観光地化されすぎていない
- \* いいにおいがする(夏は花の、冬は雪の)

### ここが嫌い

- \* 冬の！！光熱費！！
- \* 野菜が高い
- \* 新刊が到着するまで3日かかる
- \* 送料一部地域別の「一部地域」

## 志望科(科?)

### 医学部志望理由

法医学を学び、科学の側から人の権利を守ることも、研究を通して事故の予防に関わり、社会に貢献したい。



## 初期臨床研修に望んだもの

法医学者になり、解剖・研究をただならぬ臨床研修はいらない(医師免許は必要)

↓

しかし、初期臨床研修をやらないと、ほぼ臨床のバイトはできない(法的にはできるが、実際難しい)

↓

### 初期研修は行う

できるだけcommonな疾患を見たい  
最終的にその病院に勤めなくても怒られない病院がいい

- \* 看護師さんがやさしい
- \* 名物コメディカル多数
- \* **研修医はみんな当直が好き**  
(月3回～)



## 当時考えた研修先候補

### ・旭川日赤

→死因のセンスが磨ける 体力が重視される

### ・市立旭川

→先生方がユニーク 倒産しないまでも待遇は...

・旭川医科大学病院

→研究医養成コースがある 入局しないと給料が安い

・旭川厚生

・医療センター

実は悪くない!

## 研修医はみんな当直が好き

- \* 当直表が来ると当直を増やす
- \* 他院での研修期間でも帰ってきて当直をやる
- \* 朝、来ると当直の話をする
- \* 救急外来の看護師さんたちと仲良し
- \* 院内の公式「救急外来症例検討会」のほか研修医の独自勉強会がある(月2回)
- \* 他の研修医の当直カルテをチェックしている
- \* 教育研修課にはこの情熱が理解されていない

..... 第一志望に落ちる

## 市立病院研修医の出身地

神奈川 千葉 広島 札幌

熊本 福島 旭川

→「傭兵部隊」  
「(いい意味で)のら犬」

## 市立旭川病院

- \* 旭川日赤、旭川厚生、医療センターとともに旭川市の二次救急を担当する中核病院のひとつ
- \* (良くも悪くも)市民は気軽に受診する
- \* Commonな疾患が豊富
- \* 精神科が大きい(道北の精神二次救急、専門医取得可能)
- \* 整形外科と脳外科、産婦人科がない

## 出身地(実家)を離れて研修する

### 良い点

- \* 実家と距離を置ける
- \* 自分の好きな町に貢献できる
- \* そこではできない研修

### 悪い点

- \* (特に育児をする人は)実家に頼れない
- \* 古い友人たちと疎遠になる
- \* 帰省に毎回頭を使う

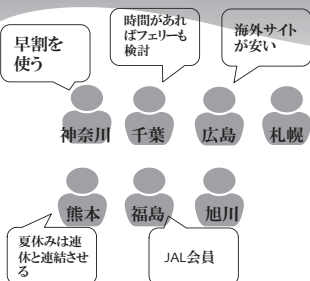
育児の予定もないし、もういい大人だし、そんなにデメリットは大きくないんじゃない?

## しかし こんな時実家が近ければと思った

- \* 引っ越して1週間もたないうちに給湯器・暖房設備が壊れ(4月)、路頭に迷う
- \* カンピロバクター腸炎で数日間苦しむ。外出できず、特に食糧の確保に困った
- \* メンタルが不調なとき
- \* 高校の同級生が楽しそうに忘年会している写真が来る
- \* 帰省に本当に頭を使う(日程、予算の面で)

2番目の演者は、旭川医療センター 呼吸器内科の森千恵先生で、「①女性医師の役割について考える ②周囲をまきこんだ子育てライフ」というタイトルのお話でした。女性医師の特性として、患者さんとの良好なコミュニケーションを維持し、結果として良好な医療ができるはずであるということ、論文を引用して解説していただきました。また、ご家族を初めさまざまなサポートをもらいながら、子育てに励んでおられる様子を紹介していただきました。

## オマケ:帰省の工夫



## ① 女性医師の役割について考える ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

2019/1/6

旭川医療センター呼吸器内科 森 千恵

## まとめ

- \* どんなに良い選択肢でも後悔するときはある
- \* **しかし、あきらかにデメリットばかりが多い選択肢でなければ、何とかやっつけていける**
- \* 好きなものは意外と見つかる

## 自己紹介

- 出身地 大阪市
- 2007年 旭川医科大学入学、2013年 卒業
- 2013年 京都大学医学部附属病院 初期研修
- 2015年 旭川医科大学 麻酔科 後期研修
- 2018年 旭川医療センター 呼吸器内科 後期研修

2017年  
結婚・出産

## 今後の方針

当直が好き、救急外来が好き  
もっと、死因に直結するような疾患をたくさん経験したい  
↓  
旭川医大の救急科に入学

将来的には救急(専門医取得まで)かどうかは未定)→法医学の道へ  
北海道を出ていく予定は今のところない

## ① 女性医師の役割について考える

## ① 女性医師の役割について考える

女性でありながら医師である障壁はたくさん  
= 体力不足、出産・育児のための休暇など



女性医師特有の強みとは？

その強みを生かして、仕事で全力を発揮したい！

## ① 女性医師の役割について考える

一方で、実は...



女性医師がミスを起こすと、他の女性医師の評価も下がるという研究がある (Sarsons, Harvard University, 2017)

まだ「女医」というくくりで見られている？

## ① 女性医師の役割について考える



## ① 女性医師の役割について考える

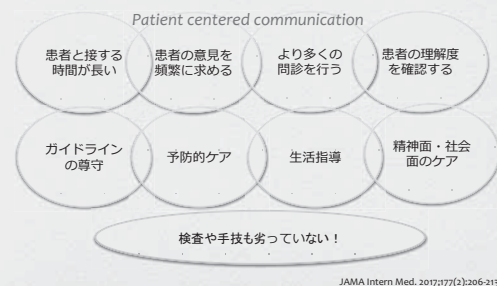
私たち女性医師が、より良い仕事をするためには？

① まずは、基本的な社会的ルールを守る！

= 遅刻しない、きちんと挨拶をする、

与えられた仕事を素早くこなす、必ずホーレンソウ

## ① 女性医師の役割について考える



## ① 女性医師の役割について考える

② 女性医師の強みを意識的に取り入れる！

= 患者・家族と信頼関係を築く

より多くの情報収集で的確な診断を

ガイドラインを守り安全な治療を

## ① 女性医師の役割について考える

### Comparison of Hospital Mortality and Readmission Rates for Medicare Patients Treated by Male vs Female Physicians

Yoshida Y, et al. JAMA Intern Med. 2016;136(10):1161-1168.

**RESULTS:** A total of 1 583 028 hospitalizations were used for analyses of 30-day mortality (mean [SD] patient age, 80.2 [8.5] years; 421 432 men and 961 616 women) and 1 540 797 were used for analyses of readmission (mean [SD] patient age, 80.1 [8.5] years; 602 115 men and 938 682 women). Patients treated by female physicians had lower 30-day mortality (adjusted mortality, 11.07% vs 11.49%; adjusted risk difference, -0.43%; 95% CI, -0.57% to -0.28%;  $P < .001$ ), number needed to treat to prevent 1 death, 23.0, and lower 30-day readmissions (adjusted readmissions, 15.02% vs 15.57%; adjusted risk difference, -0.55%; 95% CI, -0.71% to -0.39%;  $P < .001$ ; number needed to treat to prevent 1 readmission, 8.2) than patients cared for by male physicians, after accounting for potential confounders. Our findings were unaffected when restricting analyses to patients treated by hospitalists. Differences persisted across 8 common medical conditions and across patients' severity of illness.

JAMA Intern Med. 2017;177(2):206-213. doi:10.1001/jamainternmed.2016.7871. Published online December 19, 2016.

## ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

## ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

### 出産と復帰までのタイムライン

- ・産前休暇 6週間（しかし4週早く出産）
- ・産後休暇 8週間
- ・育児休暇 翌年3月まで（生後9ヶ月まで）

## ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

### 育児サークル



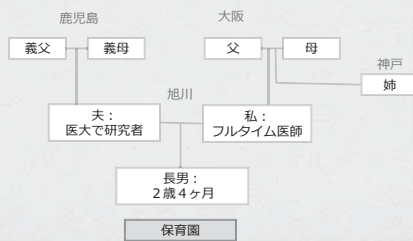
facebook



旭川ライナー、フェイスブックHPより

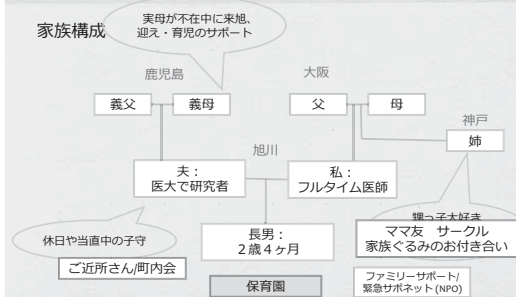
## ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

### 家族構成



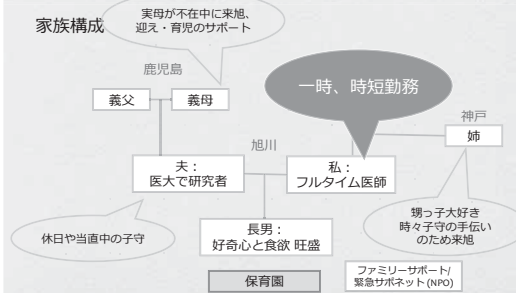
## ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

### 家族構成



## ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

### 家族構成



## 旭川医療センター



## ② 周囲をまきこんだ子育てライフ

### NPO ファミリーサポート・こども緊急サポネット

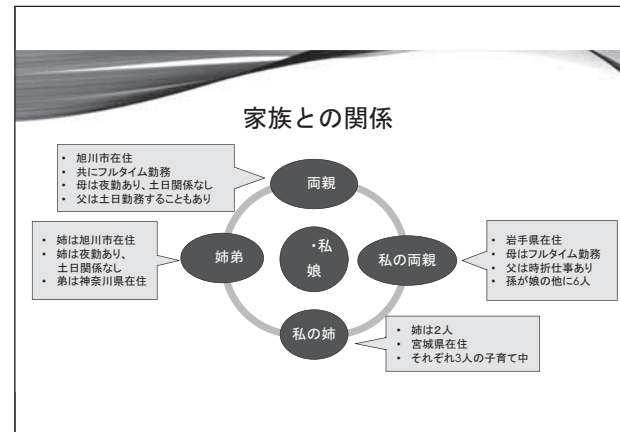
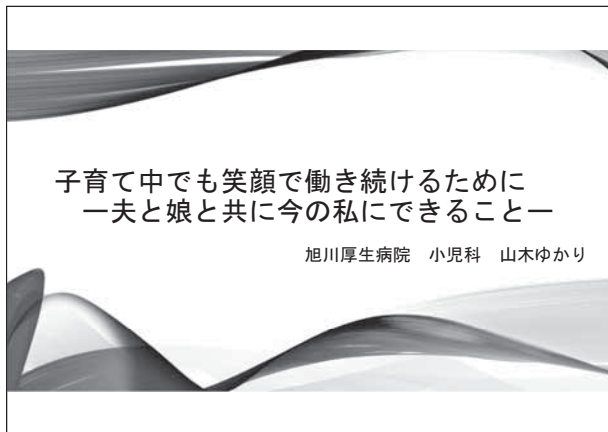
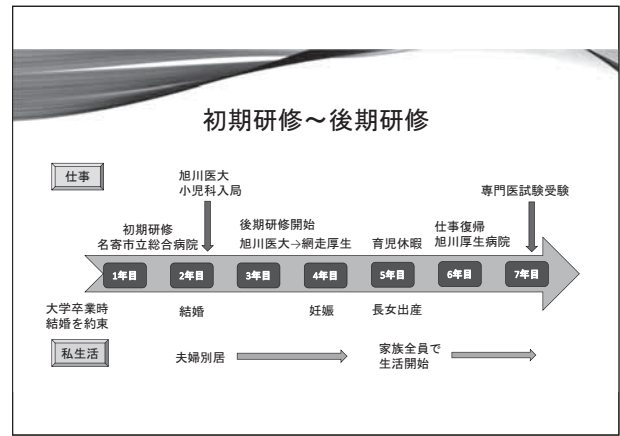
#### ファミリー・サポート・センター、こども緊急さほねっこの利用料助成制度について

- 助成対象者  
旭川市に在住している 保護者・利用者のみの 家族
- 助成金額  
お家の状況によってお金の助成額が異なります。



旭川市役所HPより (<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>)

3 番目の演者として、旭川厚生病院 小児科の山木ゆかり先生に、『子育て中でも笑顔で働き続けるために一夫と娘と共に今の私にできること』というタイトルのお話をさせていただきました。専攻科の選択からキャリア形成の経過についてのご紹介、そして出産・育児体験から医師として、母親として考えることを、前向きに明るく語っていただきました。



### 今日のお話

- 自己紹介
- 初期研修先、専攻科の選択について
- キャリア形成について
- 仕事と子育ての現状について
- 育児サポート、家族との協体制、職場の理解について
- 母親、医師として考えること

### 初期研修先の選択について

- 入学当初→岩手に帰って研修すると家族とも約束
- 大学5・6年生→岩手県の病院見学>道内の病院見学  
実習や病院見学を通して、旭川医大の医局の良さを感じる  
6年生になり旭川医大の関連病院での初期研修をしたいと決断  
→実家の家族を説得して名寄市立総合病院で初期研修することに

<名寄市立総合病院を選んだ理由>

- 道北第三次保健医療福祉圏の地方センター病院で、救急医療の経験も積める。
- 専攻科として最も興味がある小児科研修や各診療科の研修が充実している。
- 研修医の先輩方や病院全体の雰囲気よかった。

### 自己紹介

- 岩手県一関市出身 一関第一高校卒業
- 2007年 4月 旭川医科大学入学  
軟式テニス部所属
- 2013年 3月 旭川医科大学卒業

### 専攻科の選択について

- 医学部入学を決める前から小児科か内科に興味があり、臨床実習中に小児科か消化器内科に選択肢が絞られました。
- 初期研修中には小児科・消化器内科以外に麻酔科などにも惹かれましたが、最終的に小児科の道に進むことを決めました。

<小児科を選んだ理由>

- 子どもの総合医として病気だけでなく、成長・発達なども診ることができること。
- 救急対応や全身管理は難しいが、診療に当たる上級医の先生方の姿に憧れたこと。
- 元気になり笑顔で帰って行く姿から沢山の力をもらえること。

理由は色々ありますが、何より子どもが好きなのも大きな理由の1つです。

Q.結婚、妊娠でキャリアに影響はありますか？

A.影響はゼロではありません。

- 結婚前後では仕事内容に変化はほとんどありませんでした。
- 仕事・私生活における一番の理解者がいることは大きな支えになっています。
- 出産が後期研修3年目開始の時期であったため、同期からは1年遅れて専門医試験受験となりました。
- 学会活動、論文執筆などは時間を作る工夫や努力が必要だと感じています。

## 勤務形態 <出産後>

- >10か月～1歳：時短勤務（8:30～16:00）、日当直なし
- >1歳～：フルタイム勤務、日直2回/月
- >1歳4か月～：フルタイム勤務、当直2回+日直2回/月程度  
保育園は(7:30)8:00～18:00までが基本

- 娘をみる人がいない場合には急な呼び出しに対応できない可能性がある。
- 延長保育は最長19:00まで可能だが、18:30までにお迎えに行くが多い。
- どうしても仕事が終わらない時には娘を連れて戻ることはたまにあり。

## キャリア形成について<小児科の場合>

<最短の場合>

卒業3～5年目 後期研修3年間  
研修基幹病院  
連携病院などで研修  
卒業6年目 専門医試験  
サブスペシャリティへ

<私の場合>

卒業3年目 後期研修開始  
卒業4年目 妊娠  
卒業5年目 育児休暇  
卒業6年目 後期研修再開  
卒業7年目 専門医試験受験  
サブスペシャリティへ

- 論文1本雑誌掲載
- 症例要約(30症例)
- 研修手帳の提出(臨床経験内容をまとめたもの)
- 大学病院、地域小児科センター病院(旭川厚生、名寄)、  
地域振興小児科病院で研修

Q.仕事は思うようにできていますか？

A.仕事の時間がもう少し欲しい！と思うこともあります  
日々充実しています。

- 主治医として方針決定や病状説明はこなせるよう努力していますが、どうしても時間が足りないことはあります。  
→上級医・後輩の先生方のご協力が支えられています。
- もう少し文献を調べたい、症例をまとめて発表や論文につなげたい、  
そのような時間を捻出するには工夫が必要です  
→時間を上手く作ることが今後の私の課題のひとつです。

Q.出産・育児による仕事の変化はありますか？

A.当直の制限、仕事可能な時間の制約が生まれました。

- 夫婦共働きで、祖父母も現役で働いているため、当直や出張は被らないよう工夫する必要があります。
- 平日もお迎えの都合などがあり、時間内に仕事をまとめたり、休日や当直などを利用して仕事を進めたりする必要があります。

## 現在の仕事内容

- >病棟業務  
感染症、川崎病など  
重症患者さんや社会的問題がある患者さんを担当させて頂くこともあります
- >外来業務  
予防接種や退院後の短期的なフォローなど
- >学会発表・論文発表  
少なくとも年に1回は発表することが目標、論文は産後まだ1本掲載のみ
- >研究会・セミナー  
娘を家族に預けて参加することもあります

## 勤務形態 <出産前>

- >初期研修中：当直 3～4回/月
- >後期研修中：旭川医大病院→当直(外勤含む)5回前後/月  
網走厚生病院→呼び出し当番 11～12回/月  
(そのうち当直2～3回/月)

いずれも時間外勤務や呼び出しなどの制約はなく、  
臨機応変に対応することができました。

Q.育児中、日々の生活は変化しましたか？

A.とても変わりました！

- 平日は帰宅後に家事・育児をこなすため、正直慌ただしいです。
- 娘中心の生活となり、夫も私も「自分のための時間」はほぼなくなりました。
- 自分の仕事や勉強をしたい時、夫は出張や当直の時間に、私は早朝の時間を利用して行うことが多くなりました。

## 1日の流れ

- 5:30~6:00 起床、朝食準備、身支度
- 6:20~6:30 夫、娘が起床
- 6:45頃 朝食、娘の身支度、保育園準備
- 8:00頃 保育園に送り届ける
- 8:05~8:10 出勤、担当患者さんの事前回診
- 8:30 カンファレンス開始  
病棟業務（+外来業務）

- 18:00~18:30 お迎え
- 18:30~19:00 帰宅、夕食準備、食事  
入浴、洗濯
- 20:30~21:00 寝かしつけ



## 祖父母との協力

- 勤務表を交換
- 急病時には娘の看病を依頼することあり
- 家族行事を一緒にする（お誕生日、クリスマスなど）
- 保育園行事も一緒に参加
- 都合が合う時にはお互いの家で食事をします

- 人見知りの時期も長かったですが、成長とともに娘も祖父母に懐いています。
- 祖父母が近くにいることで支えられている部分が大きいです。

## Q.子供の急病時にはどうしていますか？

A.発熱当日は早退、翌日以降は状況により判断します。

- 発熱当日は小児科受診や看病をし、本人の様子をしっかりとみられるようにお休みを頂いています。
- 翌日以降は本人の状態を見て、祖父母や病児保育に預けることが可能か、その都度判断しています。

## 職場の理解

- 保育園のお迎えの時間などを考慮し、夕方の申し送りをしています。
- 娘の急病時にはお休みを頂いたり、娘の診察をして頂いたりしています。
- 年次も考慮した症例経験や、学会発表の機会もあります。

- ご迷惑を沢山おかけしていますが、私が限界を迎える前にいつも助けて頂いています。
- 「妥協せずに経験したい」という気持ちを尊重してご指導頂き、小児科医として貴重な経験を積むことができています。

## 利用可能な育児サポートについて

<送迎・預かりなど>  
旭川市  
ファミリーサポートセンター

<病児保育の利用>  
・ 旭川医大病後児保育室  
のんのさん  
・ 旭川市の病児・病後児保育

- 病児保育以外はまだまだ利用できていないのが現状です...

- 今後は各サービスの有効活用も積極的にする必要があるかもしれないと考えています。

<急病時>  
・ 上川中部こども緊急さぼねっと  
・ 北海道医師会育児サポート

## 母として思うこと

- 娘とゆっくり過ごす時間が平日は少ないこと、当直の際に娘が寂しがることなどで、母としてこれで良いのかと葛藤することが多々あります。
- 保育園に通い始める時には不安もありましたが、集団生活の中で刺激を受け、娘も日々成長しています。
- 休みの日には、家事は無理のない範囲で行い、家族の時間を大切に、娘のストレスを軽減できるように心がけています。

- 仕事と育児のバランスはまだまだ模索中です...
- 娘には日々精一杯の愛情を注ぐことができるよう、心がけています。

## 夫との協力体制

- 日直の場合 : 保育園の利用又は夫が娘と過ごす。  
当直の場合 : 夫が育児を担当、できる範囲で家事をする。
- 家事の分担 : 掃除や買い物は週末に。洗濯、食器洗いなどは余裕のある方がする。
- 当番の日程 : 夫の手術日や出張と合わせて希望を提出。
- 保育園の利用 : 土日も利用可能、延長保育あり。  
本人の負担も考えつつ利用日を調整。

- 夫との協力が必要不可欠です！
- お互いの仕事を理解し、感謝しながら支え合う必要があると思います。

## 小児科医として思うこと

- 出産・育児の大変さを体感することで、子供の発達や育児などご家族の悩みに関する様々な相談にも乗ることができるようになりました。
- 子供が病気になる時の不安な気持ちやしっかり診てほしいという思い、数日間に及ぶ看病の負担などが実感できることで、患者さん・ご家族との関わり方が変わりました。

- 娘の育児経験が日々の診療にも繋がっている部分が大きいです。
- 育児中で勤務時間に限りがあるということが患者さんに影響を与えないよう時間を工夫し、診療に当たることも大切にしています。



今、私たち家族にできること  
仕事も子育ても100%の状態でごこなすことは難しい!!

- 仕事でも家庭でも全力は尽くしつつ、限界を知ること
- 周囲のサポートに感謝し、努力をすること
- 働き方を工夫し今後も医師として働き続けること
- 子供と向き合う時間も大切にすること

家事 仕事 育児

バランスよく全てをごこなすことは難しいですが、  
 家族で協力して笑顔で毎日をご過ごすことが理想であり、目標です。

4番目の演者は、旭川赤十字病院神経内科の堀越久子先生で、「旭川でも楽しく形成外科させてもらってます」というタイトルのお話でした。ご自身の形成外科医としてのキャリアをもとに、形成外科の魅力をアピールしてくださいました。また、アメリカでの女性医師の現状との比較をしながら、日本における女性医師全体にエールを送っていただけただお話でした。

医学生・研修医・女性医師の集い

## 旭川でも 楽しく 形成外科医 させてもらってます

旭川赤十字病院 堀越 久子  
 2019/11/06

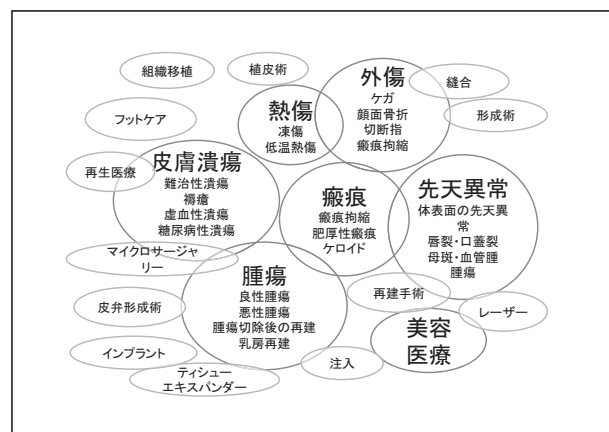
## 形成外科って？

- ・ 傷や変形をきれいに治すことを主な目的とし、顔や手足などの全身の身体表面の疾患についての分野

ケガ 顔面骨折 熱傷(やけど) あざ  
 皮膚軟部組織腫瘍 先天異常 皮膚潰瘍  
 難治性創傷・潰瘍 再生医療  
 がんの切除・再建 乳房再建 美容医療 など

- ・ 上記について専門的な知識と診療技術を持ち、これらの領域に関して適切に対応する診療を行い、必要に応じて多領域の専門医と共同して治療を行う

形成外科学会HPより引用



## 数でみる形成外科医

女性医師／日本の医師総数  
64305人/304759人 (21.1%)  
2018年統計より

形成外科学会員 5078人(うち男女比7:3)  
形成外科専門医 2726人(うち女性28%)  
日本の医師の0.9%  
2019年形成外科学会HPより

The Washington Post

August 2, 2018

Worldviews

A medical school in Japan didn't want too many women. So it lowered their grades.

Japan Data > nippon.COM Your Doorway to Japan

Too Few Female Doctors: Japan Ranks Last Among OECD Nations

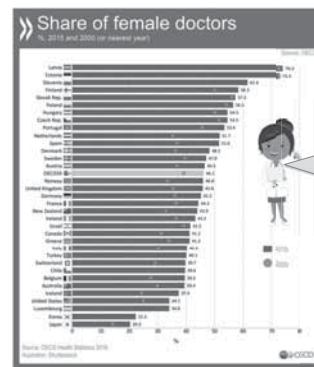
Society Aug 9, 2018

## なぜ形成外科を選んだか

- 学生時代の好きだった科目は解剖実習
- 臨床実習では手術に興味を持った
- 漠然と乳腺外科or小児外科と考えていた
- 乳房再建、外傷縫合、先天異常、レーザー治療など多様性
- 頭から足先まで
- 乳児～高齢者

色々やってみたい...

外科学の父 パレ  
1500年代

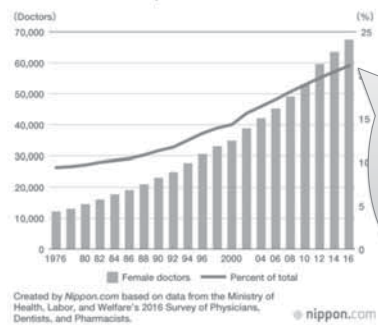


日本の女性医師の割合は20%  
世界的には最下位！

## 形成外科に進んで

- 指導医のもとに日々手術に従事
- 最先端研究や再生医療に触れる
- 様々なサブスペシャリティー
- 色々な治療法を模索できる
- 頭から足先ゆりかごから墓場まで
- 女性医師の活躍の場が多い

### Female Doctors in Japan



女性医師の割合は右肩上がり  
まだ増える！

## 順天堂大学 形成外科

- 三無主義(学閥・性差・国籍差無し)
- 出身大学は様々
- 多様な働き方
- 国内・国外留学の推進
- 基礎研究から臨床研究まで行える環境
- ワークライフバランス

<https://www.juntendo-plasticsurgery.com>

## アメリカの女性医師過去現在

Monday, December 18, 2017

More Women Than Men Enrolled in U.S. Medical Schools in 2017

For the first time, the number of women enrolling in U.S. medical schools has exceeded the number of men, according to new data released today by the AAMC (Association of American Medical Colleges).

### アメリカで医学部を卒業した女性医師の割合

- ◇ 1966年 6.9%
- ◇ 1981年 24.9%
- ◇ 2014年 47.5%

そして2017年の医学部入学生 女性>男性

30年前のアメリカに似ている→30年後の日本は今のアメリカか？！

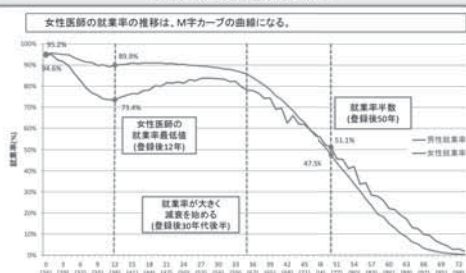
## アメリカの女性医師事情

- 女性医師の半数がレジデント期間に産後を経験
- 産前休暇は28日前から、産後休暇は26～52週間と言われるが、産後12週で復帰するワーキングママもいる
- 育児におけるバックアップの充実

## 出産と子育て

- 1人目：大学院4年生の時  
ビザの関係で産後1ヶ月で乳児を連れ渡米  
日本との住復で学位審査や卒業式→指導医・指導体制のおかげ
- 2人目： の留学中に産後  
の研究を手伝いながら出産  
帰国後は産後6ヶ月からフルタイムで勤務、子供は保育園・幼稚園へ
- 3人目(1月に産後予定)  
・周囲の協力のもとフルタイム勤務  
保育園、幼稚園、病児保育(のんのさんいつもありがとうございます！)  
出産や結婚には多様性があっていい！

医籍登録後年齢別の就業率



※2004年～2014年の医師・歯科医師・薬剤師調査 (医師職編) および厚生労働省から提供された医籍登録データを利用して作成。  
※就業率は医籍登録後年齢別の就業率(12月末時点)の平均値が26.8歳であることを考慮し設定

9

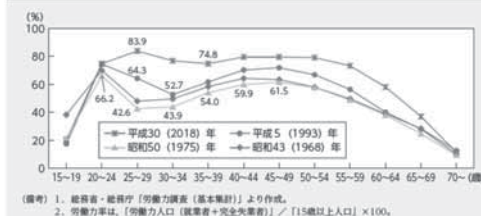
## 最後に

- 女性が働きやすい環境は、すなわち男性も働きやすい環境であること
- 先輩から受け継いだバトンを次世代につなぐ
- 子育ては未来を担う人を育てる
- 置かれた場所で咲きなさい (旭川市出身、渡辺和子)

### 感謝と還元

地道に前に進むことが、未来につながる

図表 女性の年齢階級別労働力率の推移



2018年にはM字カーブが緩やかに→働き続ける女性が増えている

ご静聴ありがとうございました！

形成外科に興味がある方は  
お気軽にご相談ください！

## 働く女性・女性医師が増える

- 専門医の取得  
→転職や開業など人生プランを考える上で有利  
→患者や患者家族の偏見
- 女性医師としての必要性
- 人生イベントで働き方が変わる  
→仕事を継続することが求められる  
→男女ともにワークライフバランスが重要

今回ご発表いただいた先生たち皆さん、それぞれのお立場で頑張っておられる様子が良くわかりましたが、それが決して悲壮感を伴うものではなく、ご自分の人生を楽しんでおられる雰囲気が伝わってきました。毎回感じるのですが、いろいろとお話を聞かせていただき、こちらも元気をもらったような気がします。

皆さんの今後のご活躍を期待するとともに、いつも開催のたびに多大なご協力をいただく旭川医科大学二輪草センターの皆さまに深謝いたします。また来年も、女性医師部会を中心として、企画をたてていきたいと考えています。